

## 大気観測車の概要

大気観測車はコンテナ内に大気汚染測定機器を搭載しています。設置測定を行う際には、前後 4 箇所のジャッキで車体を固定します。また、屋根の上の伸縮式のポールに風向風速計を設置します。サンプリング管から空気を吸い込み、各測定機で汚染物質を測定します。測定期間中、大気汚染物質及び風向風速は、固定測定局と同様に 24 時間続けて自動測定しています。測定データは携帯電話回線により、神戸市役所の環境常時監視システムに送信されます。

大気観測車は天然ガス自動車を導入しており、車両の低公害化を図っています。



図 1 大気観測車の配置と装備

表 1 大気観測車の諸元

項目	諸元
全長	6.2m
全高	3.2m
全幅	2.0m
採気口の高さ	地上 3m
風向・風速計の設置位置	地上 7m
導入年月日	平成 18 年 3 月

表 2 測定項目及び測定方法

項目	方法
二酸化硫黄	紫外線蛍光法(JIS B7952.7.2.2)
窒素酸化物	化学発光法(JIS B 7953.7.2.2)
一酸化炭素	非分散型赤外分析法(JIS B 7951.8.4.3)
光化学オキシダント	紫外線吸収法(JIS B7957.7.2.3)
浮遊粒子状物質	$\beta$ 線吸収法(JIS B 7954.8.4.2)
風向・風速	超音波式